

■平成25年度決算概要について

このたび、平成25事業年度（第10期）の財務諸表並びに決算報告書等が、平成26年9月25日付けで文部科学大臣に承認されましたので公表いたします。財務諸表は企業会計原則に基づきながら、国立大学法人の特性を配慮した「国立大学法人会計基準」等に則り作成しております。

【財務状況】

財務状況につきましては別紙の貸借対照表に記載のとおりです。

- ・当期末の資産合計は約1,663億円となっており、附属病院の基幹整備（ボイラーや自家発電整備）、病院情報管理システムの新規リース契約等により、前期末比約41億円の増加となっております。
- ・当期末の負債合計は約469億円となっており、病院情報管理システムの新規リース契約等による増加、借入金（国立大学財務・経営センター債務負担金）の返済による減少等の相殺により、前期末比約33億円の増加となっております。
- ・上記資産と負債の差額が純資産となっており、当期末は前期末比約8億円増加の約1,193億円となっております。

【運営状況】

運営状況につきましては別紙の損益計算書に記載のとおりです。

- ・当期の事業規模は前期と比較し約6.7%（約33億円）ほど拡大しておりますが、これは国や民間からの競争的資金獲得による事業規模の拡大、附属病院事業の拡大等による影響です。
- ・経常費用が約533億円、経常収益が約555億円となっており、この差額が経常利益約22億円となっております。この経常利益から、臨時損失、臨時利益及び目的積立金取崩額を加算すると、当期総利益が約22億円となります。
- ・当期総利益として約22億円を計上しておりますが、現金の裏付けの無い観念的利益約19億円が含まれており、**本学の経営努力により捻出した純利益は約2.4億円**となります。
- ・この純利益は、文部科学大臣の承認後、目的積立金として整理の上、本学の中期計画で定めた教育研究活動や組織の改善等に効率的に使用する予定です。

財政状況

■貸借対照表（要約）

	24年度	25年度	対前年度比
(資産の部)			
固定資産	145,169	148,131	2,962
有形固定資産	143,933	146,293	2,360
土地	87,536	87,496	△ 40
建物	48,246	46,654	△ 1,592
構築物	168	191	23
工具器具備品	6,926	10,758	3,832
その他有形固定資産	1,055	1,192	137
無形固定資産	214	211	△ 3
投資その他資産	1,021	1,626	605
流動資産	16,984	18,185	1,201
現金及び預金	7,657	11,396	3,739
未収附属病院収入	5,170	5,239	69
その他未収入金	284	245	△ 39
有価証券	3,299	700	△ 2,599
医薬品及び診療材料	517	562	45
その他流動資産	54	40	△ 14
資産合計	162,153	166,316	4,163

湯島地区における歩道拡幅に伴う土地売却、赤倉寮の売却により、減少しております。

病院情報管理システムの新規リース契約等により、増加しております。

長期保有の有価証券を購入したことにより、増加しております。

短期保有の有価証券が満期を迎え現金化したことにより、現金及び預金は増加、有価証券は減少しております。

当期末の資産合計は約1,663億円となっており、前期末比約41億円の増加となっております。この主な増減要因として、附属病院の基幹整備事業（蒸気ボイラー）等により建物の資産価値が約8億円増加、病院情報管理システムの新規リース契約等により工具器具備品が約62億円増加、長期保有（1年以上）の有価証券を購入したことにより投資その他資産が約6億円増加する一方、減価償却の進行による減少が約46億円あり、これらを相殺した結果、固定資産は約29億円の増加となります。

次に、流動資産が約12億円増加しておりますが、これは通常業務の入出金や短期国債の満期到来等により現金及び預金が約37億円増加する一方、短期国債の満期到来により有価証券が約25億円減少したことによるものです。

(単位：百万円)

	24年度	25年度	対前年度比
(負債の部)			
固定負債	27,607	29,011	1,404
資産見返負債	5,309	5,974	665
財務経営センター債務負担金	19,976	16,816	△ 3,160
長期借入金	1,664	2,355	691
その他固定負債	657	3,865	3,208
流動負債	15,997	17,926	1,928
運営費交付金債務	937	418	△ 519
寄附金債務	3,019	3,276	257
一年以内財務経営センター債務負担金	3,384	3,159	△ 225
未払金	6,748	9,183	2,435
その他流動負債	1,907	1,888	△ 19
負債合計	43,604	46,937	3,333
(純資産の部)			
資本金	75,956	75,936	△ 20
資本剰余金	17,756	16,398	△ 1,358
利益剰余金	24,835	27,043	2,208
純資産合計	118,548	119,379	831
負債・純資産合計	162,153	166,316	4,163

国立大学法人会計特有の勘定科目で、資産を取得する際に同額を負債として計上し、減価償却費が発生した際に同額を取り崩して損益均衡を図るものです。

病院情報管理システムやMRI装置等の新規リース契約等により、長期未払金が増加したことによるものです。

国立大学財務・経営センターに対する借入金残高(元本)は、固定負債の財務センター債務負担金約168億円、長期借入金約23億円、流動負債の一年以内財務センター債務負担金約31億円を合算した約223億円となります。

翌年度に支払われる金額です。附属病院の基幹整備事業や7号館(動物実験施設)の回収工事等により、増加しております。

当期末の負債合計は約469億円となっており、前期末比約33億円の増加となっております。この主な増減要因として、病院情報管理システム等の新規リース契約数の増加によるその他固定負債が約32億円増加、翌年に支払われる未払金が約24億円増加、新規借入による長期借入金が増加した一方、借入金を返済したことにより、国立大学財務・経営センター債務負担金(一年以内含む)が約33億円減少したことなどによるものです。

資産と負債の差額が純資産となっており、当期末は前期末比約8億円増加の約1,193億円となっております。

運 営 状 況

■ 損益計算書（要約）

5号館改修工事、歯科棟北の改修工事、7号館改修工事等の影響により増加しております。

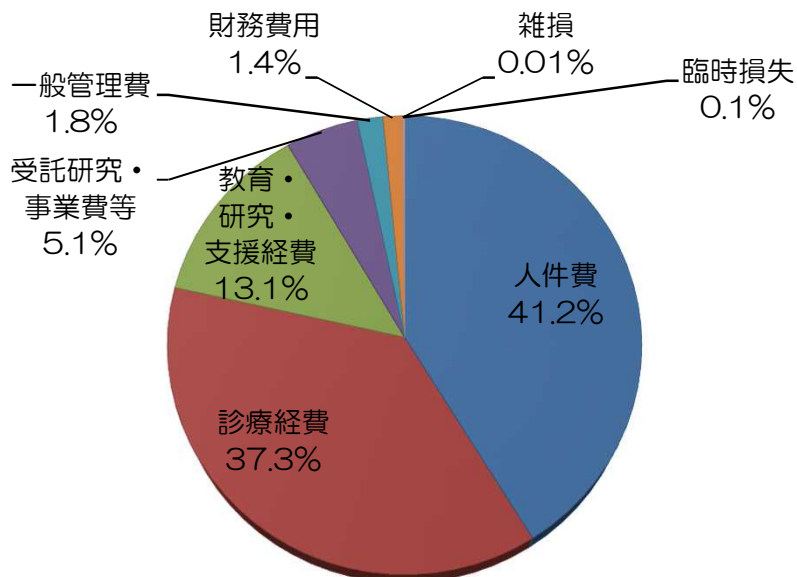
病院情報管理システム等の新規リース契約数の増加、附属病院の基幹整備事業（蒸気ボイラー）等の影響により、増加しております。

受託研究・事業等の獲得に努めたことにより受入額が増加したため、費用も増加しております。

借入金返済の進行に伴い、利息が減少しております。

当期総利益には現金の裏付けの無い観念的利益が含まれており、これを除いた額、**約2.4億円**が、本学の経営努力により捻出した利益（目的積立金）として、文部科学大臣の承認後に、本学が利活用できる資金となります。

費 用	24年度	25年度	対前年度比
経常費用	50,001	53,326	3,325
業務費	48,179	51,614	3,435
教育・研究・支援経費	5,412	6,968	1,556
診療経費	18,935	19,918	983
受託研究・事業費等	2,160	2,736	576
人件費	21,670	21,990	320
一般管理費	1,002	964	△ 38
財務費用	807	744	△ 63
雑損	11	3	△ 8
臨時損失	67	60	△ 7
当期総利益	3,136	2,253	△ 883



(単位：百万円)

収 益	24年度	25年度	対前年度比
経常収益	53,144	55,559	2,415
運営費交付金収益	13,677	14,113	436
学生納付金収益	1,394	1,520	126
附属病院収益	30,692	30,966	274
受託研究・事業等収益	2,170	2,738	568
補助金等収益	1,147	1,025	△ 122
施設費収益	440	1,217	777
寄附金収益	1,138	1,141	3
資産見返負債戻入	1,296	1,341	45
その他の収益	1,186	1,493	307
臨時利益	61	35	△ 26
目的積立金取崩額	-	44	44

運営費交付金の交付額は減少しておりますが、前年度から繰り越したH24復興関連事業及び当期の復興関連事業分（5号館改修）等の影響により、増加しております。

国立大学法人特有の会計処理による影響（固定資産取得時の資産見返勘定への振替処理）によるものであり、現金ベースでの収入に大きな増減ありません。

入院診療単価の増加及び外来患者数の増加等により、増加しております。

受託研究・事業等・施設費の獲得に努めた結果、受入額が増加したことによるものです。

国立大学法人特有の勘定科目であり、資産の減価償却費に対応して計上することにより、損益の均衡を図るものです。

前年度以前から繰り越された目的積立金を執行した際の費用相当額です。

